

「人」が輝き、
「まち」が輝く
「輝く創造都市、高松」



大西さとし

市政レポート 第3回 5月臨時会
第4回 6月定例会

HPやFacebookでも情報発信中!!

連絡先

〒760-0080 高松市木太町1849-1-602
TEL 090-8696-1730



←HP
Facebook→



Report 報告 1

5月30日・31日の2日間の日程で、第3回臨時会を開催し、国の「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金」を活用した事業の実施等の一般会計補正予算3議案を可決いたしました。

6月23日(金)から7月10日(月)の18日間の日程で、第4回定例会を開催し、「一般会計補正予算など15議案を可決し、議員提出議案4件を否決としたほか人事案件27件に同意しました。なお、私自身本議会において代表質問を行い行政の考えを質しました。

6月定例会(抜粋) 質問および答弁の概要

政治姿勢について

Q 5期目の市政運営に向けた決意

A 本市では現在、次期総合計画の策定に取り組んでおり、私のマニフェスト2023で示した「子どもを産み育て、働きやすいまち」、いわゆる「選ばれるまち」を始めとする、7つの政策とそれを実現する77の施策の着実な推進を図るため、各分野の政策・施策を戦略的かつ実効性のあるものとして、取りまとめたところである。

5期目となるこれからの4年間においても、私自身が先頭に立ち、市民の皆様の声に耳を傾けながら、各施策を積極的に展開してまいりたい。

また、シビックプライドの醸成やブランド力の向上、シティプロモーションの強化を図り、市民の皆様が、この高松に住むことに誇りを持ち、「選ばれるまち」となるよう誠心誠意、全力で取り組み、「夢と誇りの持てる世界都市・高松」の実現を目指して、力を尽くす所存です。

行財政について

Q 生産年齢人口、特に若い世代の増加により地域経済が活性化し、その結果、税収が増えるといった好循環を実現させる考え

A 本市では、人口減少の克服と地域活力の向上を図るため、「第2期たかまつ創生総合

戦略」に基づき、各種施策・事業に取り組んでいるところであります。

令和4年度については、前年度と比較し、20代、30代の年齢層の人口増加が顕著であるほか、固定資産税は2.7%の増、個人市民税についても、若干ではあるが増加しており、本市の取組みの効果が現れ、今後の好循環も期待できる場所である。

また、若い世代の雇用創出が期待される、情報通信関連企業等を誘致するとともに、今後は、若者のUターン就職や定住促進を図る、奨学金の返済支援についても取組むこととしている。

若い世代が「住み続けたい」「住んでみたい」と思えるような、魅力あるまちづくりを推進し、地域経済の活性化や税収の増加を図ってまいりたい。

まちづくりについて

Q 「サンポートエリア」本市としてどのように関わっていくのか

A 本市では、歩行者が安全で快適に歩けるエリアの形成に向け、具体的な整備内容を始め、周辺交通に及ぼす影響や整備効果の検証手法などについて、現在、県と協議を重ねているところである。

また、昨年度、官民連携により、エリアを一体的にマネジメントするための合意形成である「エリアプラットフォーム」を立ち上げ、今月から、本市が管理する駅前広場を開放し、民間主体によるイベントの開始など、にぎわいの創出に資する社会実験を開始した

ところである。

本市としては、ハード・ソフト両面から様々な取組みを通じて、魅力的な空間形成や、拠点性を発揮できるエリアのまちづくりにより、本市が主体性を持って、関係機関と十分に連携しながら、取組んでまいりたい。

観光振興について

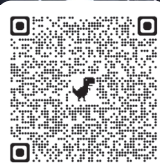
Q 今年度の「さぬき高松まつり」花火大会の開催に対する思いと、来年度以降の花火大会の開催に向けた考え方

A 「さぬき高松まつり」の花火大会につきましては、2019年の荒天による中止以降、コロナ禍による3年連続の中止をへて、実に5年ぶりに再開できることは大変喜ばしい。

一方で、県立アリーナの整備などにより、サンポート地区における観覧場所が、大幅に減少していることから、観客の皆様への安全を最優先する中で、打上げ時間を10分間とし、打上げ数を3千発にするなど、例年より規模を縮小しての開催となる。終始、従来の花火大会のクライマックスが続くような迫力ある演出を予定しているところである。

まずは、今年の花火大会が安全に開催され、観覧いただいた皆様の思い出に残るものとなるよう取組んでまいるとともに、花火の当日における、各所からの花火の見え方や、混雑状況を調査し、その検証を行う中で、来年度以降、更に充実した花火大会となるよう、高松まつり振興会と共に、しっかりと検証・検討を行ってまいりたい。

Q 2025年日本国際博覧会(大阪・関西



議会中継の動画をご覧いただけます。

万博)による効果を本市に最大限波及させるための取組みと、波及効果の見込み

A「大阪・関西万博」は、国内外から約2,800万人の来場者が見込まれており、本市に多くの観光客と経済効果を呼び込む大きなチャンスとして期待を寄せている。

本年2月に、本市と神戸市、小豆島町及び土庄町の間において、「大阪・関西万博」を見据えた観光に関する連携協定を締結しており、海外の旅行会社やメディアを招へいし、2市2町を巡る、FAM(ファミ)ツアーの造成に係る補正予算議案を、今定例会に提出しているところである。

同じ年に開催される「瀬戸内国際芸術祭」についても、本市の魅力や、全世界に向けて発信する好機と存じていることから、「瀬戸内国際芸術祭2019」を上回る来場者を指すなど、本市を訪れる観光客数がコロナ禍以前を上回るよう、今後、神戸市等との連携による新たな取組みを検討するなど、各種観光施策の推進に、鋭意、取組んでまいりたい。

子育て支援について

①保育所の待機児童

今後の待機児童解消に向けた取組み

A本市ではこれまで、入所選考の機会を、2回から3回に増やすとともに、施設の空き状況を積極的に情報提供するなど、保育ニーズに沿った入所対応に努めてきたほか、今年度からは、市立認定こども園における保育部門の定員を拡充したところである。

今後においては、これまでの取組みに加え、入所申込に当たり、保護者に対して、希望施設を増やしていただくよう、働き掛けるほか、私立保育所等とも連携をし、更なる児童の受入に努めるなど、各種対策に取組み、早期に待機児童の解消を図ってまいりたい。

Report 報告2

高松市公式LINE

「たかまつホットとLINE」

高松市公式LINE「たかまつホットとLINE」では、子育てやイベント、観光などの中から自分が欲しい情報を受け取ることができるほか、防災や休日当番医など暮らしに役立つ市政情報を手軽に取得することができます。

なお、これまで市民投稿システムとして活用していましたが、「高松市マイシティレポート」は、令和5年3月31日をもって終了し、令和5年4月より、道路の陥没や、ガードレールの破損などを発見した際は、「たかまつホットとLINE」から写真や位置情報を投稿することができるようになりました。身近な市政情報を手軽に調べることができ、市民投稿サービスも始まった「たかまつホットとLINE」を、ぜひご活用ください。

LINEアプリをご利用の上、公式アカウント「高松市」の友だち追加をお願いします。身近な市政情報を手軽に調べることができる「たかまつホットとLINE」。ぜひ、ご家族やお知り合いにもご紹介ください。※個別のメッセージには対応しておりませんのでご了承ください。



友だちになれば、とても便利に。

1 基本メニュー	暮らしの情報	基本メニュー	2 暮らしの情報
高松市 公式ホームページ	オンライン申請 防災情報	結婚・離婚 引っ越し・移住 年金・保険 税金	3 市民投稿
休日当番医 ごみ・リサイクル	子育て・教育 知る・学ぶ	健康・福祉 高齢者 おくやみ 補助・助成	
イベント 広報・SNS	よくある質問 受信設定	各種証明書 相談窓口 施設一覧	

充実したメニュー

防災や休日当番医など生活に役立つ情報をまとめた「基本メニュー」①と、引っ越しや助成などのさまざまな行政手続きを掲載した「暮らしの情報」②の2つのメニューを設置しています。メニュー上部のタブをタップすることで、切り替えが可能です。

LINEを利用した道路の破損通報等に関する「市民投稿」③サービスが始まりました。

これまで活用いただいていた、市民投稿システムである「高松市マイシティレポート」は、「たかまつホットとLINE」に機能集約され、更に利便性が高まっておりますのでぜひご活用ください。これからも市民の皆様とともに地域課題を解決し、誰もが快適で暮らしやすい持続可能な高松を創っていただけるよう全力で努めてまいります。

Column コラム



高松港に来たクルーズ客船の「おもてなし」をしています

「訪日外国人観光客」へのおもてなし

5月31日、観光庁が公表した4月の宿泊旅行統計により、国内のホテル・旅館に泊まった訪日外国人は1,033,800人ととなり、「コロナ禍前の2019年4月と比較して92%となっており、インバウンド需要は大幅に回復していることが伺えます。

本市においても、高松空港においては、上海便を除く、アジア3路線の週14便の運航が再開されるとともに、高松港における海外からのクルーズ客船の寄港数も、今年14隻に回復してきているところであります。2025年には大阪・関西万博が開催されるなど、今後予想される多くの訪日外国人観光客の方々を本市に招き入れていくには、航空輸送のみならず、鉄道などの陸上輸送や海上輸送など、あらゆる交通事業者と協力・連携を図るとともに、市民の皆様と一緒に「おもてなし」の受入の体制を充実していくことが重要であります。



高松に寄港したクルーズ客船



大西智

クルーズ客船の高松港への就航予定は、香川県ホームページに公開されておりますので、見学も兼ねてお立ち寄りいただき、お出迎えやお見送りの「おもてなし」を一緒にこなしてみたいかがでしょうか。

入港情報はこちら↑